

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】平成18年4月13日(2006.4.13)

【公表番号】特表2002-505480(P2002-505480A)

【公表日】平成14年2月19日(2002.2.19)

【出願番号】特願2000-533829(P2000-533829)

【国際特許分類】

G 06 F 15/82 (2006.01)

G 06 F 12/08 (2006.01)

【F I】

G 06 F 15/82 6 1 0 E

G 06 F 12/08 5 3 1 Z

G 06 F 12/08 5 5 9 Z

【手続補正書】

【提出日】平成18年2月9日(2006.2.9)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】 計算機構または類似の機構のための命令のキャッシュ方法において、階層構造でグループに分けられている一連のキャッシュユニットが設けられており、命令の要求が少なくとも1つの下位の階層で処理できないときのみ、該命令の要求が上位の階層へ転送されることを特徴とする、

命令のキャッシュ方法。

【請求項2】 少なくとも1つのキャッシュが2つ以上の計算機構または類似の機構に割り当てられている、請求項1記載の方法。

【請求項3】 まえもって定められたシーケンスに属する命令が前記キャッシュにまえもって格納される、請求項1または2記載の方法。

【請求項4】 前記命令は命令シーケンスにまとめられ、命令シーケンスとして第1のキャッシュに格納され、必要に応じて命令シーケンス全体が伝送される、請求項1から3のいずれか1項記載の方法。

【請求項5】 ツリー状の階層構造として互いに接続可能なキャッシュおよび/または類似のユニットたとえばキャッシュ間のキャッシュ命令を伝送するためのユニットを接続する方法において、

複数のキャッシュまたは該キャッシュに割り当てられている複数のユニットを通るコネクションが同時に要求されたとき、上位のキャッシュまたはユニットが優先されて、すでに複数のレベルにわたって実行されている進行中のバス確立動作がまだローカルなバス確立動作によって中断されるのが回避されることを特徴とする方法。